

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

≪無断転載禁止≫

レジメン番号： CRC-154

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
大腸がん (RAS野生型)	Cmab+mFOLFOXIRI	14日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	文献要確認Oncotarget 9:18811-20,2018 (Lancet Oncol 16: 1306-15, 2015)

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day													
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
①	デキサート ボラミン 生理食塩液	6.6mg 5mg 50mL	点滴静注	5分	↓													
②	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分	↓													
③	アービタックス 生理食塩液	500mg/m ² 250mL	点滴静注	初回 120分 2回目～60分	↓													
④	生理食塩液	100mL	点滴静注	60分 (初回)	↓													
	生理食塩液	50mL	点滴静注	5分 (2回目以降)	↓													
⑤	アロカリス デキサート パロノセトロン 生理食塩液	235mg 9.9mg 0.75mg 50mL	点滴静注	30分	↓													
⑥	イリノテカン 5%ブドウ糖液	150mg/m ² 250mL	点滴静注	60分	↓													
⑦	レボホリナート* 5%ブドウ糖液	200mg/m ² 250mL	点滴静注	120分	↓													
⑧	エルプラット* 5%ブドウ糖液	85mg/m ² 250mL	点滴静注 (側管)	120分	↓													
⑨	5-FU 生理食塩液	2400mg/m ² 適量	点滴静注	46時間	→													
⑦と⑧は同時に投与																		

<注意事項/備考>

- ✓ 原則として、皮下埋め込みポートより投与 / オキサリプラチンはレボホリナートの側管から同時投与。
- ✓ 催吐リスク：高リスクに分類、NK1受容体拮抗薬、5HT3拮抗薬、DEX併用。
- ✓ 下痢（CPT-11）：急性症状（コリン様症状、前投薬に抗コリン薬併用などの検討）と慢性症状（活性代謝物による粘膜障害、必要に応じてロペラミドの検討）
- ✓ 過敏症（L-OHP）：7-8コース前後で頻度上昇、症状は呼吸苦、かゆみ、発赤など
- ✓ 末梢神経障害（L-OHP）：急性（寒冷刺激で誘発）と慢性（知覚異常を伴う機能障害、総投与量850mg/m²より頻度上昇）
- ✓ Cmab：初回は2時間かけて投与、2回目以降は1時間かけて投与
- ✓ ざ瘡様皮疹（Cmab）：比較的早期から生じる。スキンケアや保湿剤で予防を。必要に応じてステロイド剤の使用
- ✓ 爪囲炎（Cmab）：遅発性（1か月後～）に生じることが多い。疼痛、爪の発達障害など。洗浄を行い、必要に応じてテーピングや外用ステロイド剤を